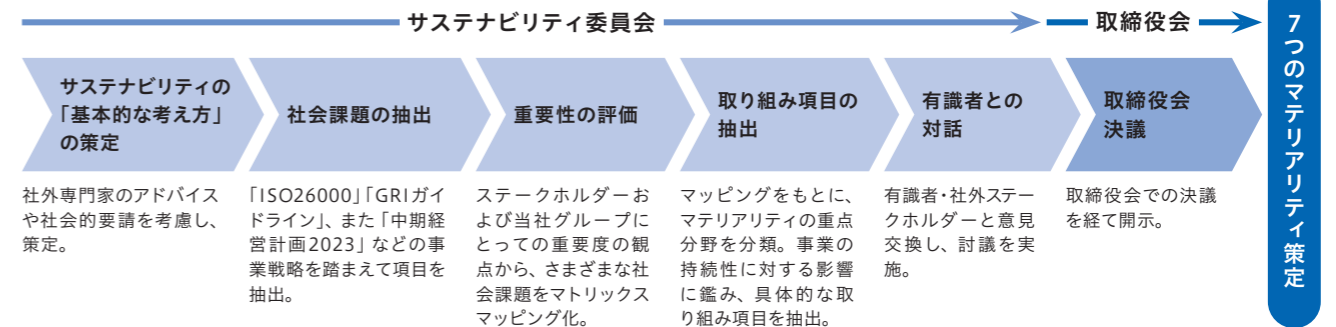









# マテリアリティへの取り組み

当社は、「ステークホルダーにとっての重要度」と「伊藤ハム米久グループにとっての重要度」の観点から重要な社会課題を抽出しています。中でもとくに当社グループにとって優先度の高い課題をマテリアリティとして特定し、取締役会で決議しました。マテリアリティを事業戦略に組み込み、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## ●マテリアリティの特定プロセス



## ●マテリアリティ

マテリアリティ	考え方・背景	対象	取り組み項目
 <b>健やかで豊かな食生活の実現</b> <small>詳しくは23ページへ</small>	当社は、安全・安心で価値ある商品・サービスの提供を最優先としています。さらに、健康志向や簡便志向、食品ロスの低減など、多様なライフスタイルや社会的ニーズに対応した商品・サービスを提供していきます。	社会 環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な食品の提供</li> <li>良質なたんぱく質の提供</li> <li>多様なライフスタイルに対応した商品開発と健康価値の提供</li> <li>食品ロス低減につながる商品の拡大</li> </ul>
 <b>地球環境への配慮</b> <small>詳しくは23ページへ</small>	当社は、当社事業が地球環境に密接に関連していることを認識し、資源の有効活用、温室効果ガス排出量の削減などの環境負荷の低減に努めるとともに、生物多様性にも配慮した取り組みを推進していきます。	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス排出量の削減</li> <li>エネルギー・用水使用量の削減</li> <li>廃棄物排出量の削減</li> <li>生物多様性の保全</li> <li>プラスチック使用量の削減</li> </ul>
 <b>従業員一人ひとりが活躍できる職場づくり</b> <small>詳しくは24ページへ</small>	当社は、事業活動を支える従業員が安心して働くことができる職場環境を確保するとともに、多様な価値観と働き方を尊重します。従業員が企業とともに持続的な成長を目指している風土を醸成していきます。	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材開発・育成</li> <li>ダイバーシティの尊重</li> <li>ワークライフバランスの推進</li> <li>労働安全衛生・健康管理・人権尊重</li> </ul>
 <b>持続可能な調達と安定供給の推進</b> <small>詳しくは24ページへ</small>	当社は、畜産産業をはじめとした当社のすべてのビジネスパートナーと協調して人権尊重やアニマルウェルフェアなどの社会課題の解決を目指し、持続可能なサプライチェーンを構築していきます。	環境 社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な畜産産業への貢献</li> <li>人権を尊重した調達の推進</li> <li>アニマルウェルフェアへの配慮</li> </ul>
 <b>地域社会への貢献</b> <small>詳しくは34ページへ</small>	当社は、地域社会の一員として、また、良き企業市民として、地球環境への配慮や安全衛生、雇用の創出など「社会との共生」を重視した取り組みを推進していきます。	社会	
 <b>コーポレート・ガバナンスの強化</b> <small>詳しくは35ページへ</small>	当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方に基づき、最適なガバナンス体制を構築していきます。	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスの遵守・推進</li> <li>リスクマネジメント</li> </ul>
 <b>妥協しない美味しさと高品質へのこだわり</b>	当社は、これまで歩んできた歴史と技術の伝承を守りながら、すべてのお客様に喜んでいただける商品・サービスの提供を目指します。	社会	

私たちはグループ理念を実現するため、社会と事業の持続可能性を両立できるよう事業運営を推進してきました。とくに、2021年度に策定した「7つのマテリアリティ」を通して、あらためてさまざまな課題に取り組んでいます。ここでは、4つのマテリアリティの具体的な取り組みをご紹介します。



健やかで豊かな食生活の実現

「安全・安心」で良質なたんぱく質を、  
多様なライフスタイルに応じてもっと身近に

ノンミートブランドである「まるでお肉!」「AIRMEAT」の各シリーズで商品ラインアップを増やし、お客様に新たなたんぱく質摂取の選択肢をご提供しています。また、家庭でのアレンジが可能な未加熱素材「お肉屋さんの大豆MEAT」シリーズを販売し、需要拡大が予測されるノンミート事業領域拡大への供給体制を整えました。

お客様に安全・安心な商品とサービスを提供するために、法令遵守はもとより適正な商品情報の開示にも引き続き取り組んでいます。同時に、食の安全・安心に関わるリスクコミュニケーションの消費者対応レベル向上の取り組みとして「NPO法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）」の有識者による講演会を開催しました。品質管理、品質保証、商品企画・開発などに携わる従業員が受講し、添加物に対する消費者心理などの学びを深めました。「添加物に



対する消費者心理を対話のコツとして学ぶことができた」「消費者対応のレベル向上につながった」など、参加した従業員の9割以上から肯定的な回答が得られました。今後の課題発見にもつなげていきます。



地球環境への配慮

プラスチック使用量約30%削減見込み。環境配慮型パッケージへの切り替え

環境負荷を低減し地球環境保全に貢献するため、2022年2月より、主力ブランドのひとつである「The GRAND アルトバイエルン」や「肉だんご」などの巾着形態商品のパッケージを環境配慮型に、順次切り替えを開始しました。

パッケージ上部をカットすることで、プラスチック使用量は対象商品全体で約30%<sup>※1</sup>（年間約150t、CO<sub>2</sub>換算約850t）の削減が見込まれます。

また、生活者の買い物袋や冷蔵庫の保管スペースの削減に寄与するとともに、配送用の段ボール入数を10パックから12パックに変更することで、1.2倍積載可能となるため、物流効率改善による輸送負荷軽減<sup>※2</sup>（CO<sub>2</sub>換算約240t）

にも貢献します。

※1：現行商品と比較した計算値 ※2：当社試算

● The GRAND アルトバイエルンのパッケージ変更



従業員一人ひとりが活躍できる職場づくり

「働き方改革推進ポータルサイト」を通じて柔軟な働き方を支援

仕事と育児や介護との両立や、withコロナの環境下で働き方が多様化する中、「働き方改革推進ポータルサイト」を通じて、育児介護相談窓口、仕事と育児の両立支援制度、在宅勤務制度などの周知を図っています。

多様で柔軟な働き方を推進することで、グループの従業員一人ひとりが安心して働けるよう支援を進めています。

また、女性の積極的な採用や活躍推進、公的機関との連携による安定した障がい者雇用機会の創出など、多様な人材が活躍できる職場づくりに取り組んでいます。

“ VOICE ”

チームで働く良さを  
あらためて実感できた



育児休業を取得してよかったというのが一番の感想です。子どもが産まれたばかりの大変な時期を妻と子どもと3人で過ごすことができ、家族の絆がいつそう深まりました。また、休業中は周りの方のいろいろと助けていただき、チームで働くということの良さをあらためて感じる事ができました。温かく送り出してくれた職場の皆様にも大変感謝しています。

経理財務部 大澤隆之（29歳）

企業としての社会的責任を果たすため  
「伊藤ハム米久グループ人権方針」を策定・開示

人権に関わるさまざまな課題についてのこれまでの取り組みをもとに、「人権の尊重はすべての判断や行動において根底をなすもの」としてあらためて認識し、「伊藤ハム米久グループ人権方針」を策定・開示しました。事業活動を

通じた人権尊重の責務を果たしていくため、人権デュー・デリジェンスの仕組みの構築など、更なる取り組みを推進していきます。

「人権方針」はこちら [Click](#)



持続可能な調達と安定供給の推進

「伊藤ハム米久グループ調達方針」  
「サプライヤー調達ガイドライン」の策定・開示

責任ある調達活動を実施するため、人権の尊重や地球環境への配慮などをうたったグループの調達方針を策定・開示しました。また、サプライヤー調達ガイドラインを通じて当社グループのすべてのサプライヤーに強制労働や児童労働の禁止、安全な職場環境の整備などへのご理解とご協

力をお願いし、サプライチェーン全体で持続可能な調達活動を推進していきます。今後はグループの従業員に対しての研修やサプライヤーへのアンケートを実施するなど、更なる取り組みを推進していきます。

「アニマルウェルフェアポリシー」の策定・開示

畜産産業における持続可能な生産・調達活動に密接に関連するとして、アニマルウェルフェアへの配慮を当社グループが取り組むべき社会活動のひとつとらえています。そのため、国際獣疫事務局（OIE）がアニマルウェルフェアの指針として示した5つの自由の考え方に賛同し、家畜の

生命を尊重した生産・調達活動を推進するために「アニマルウェルフェアポリシー」を策定・開示しました。当社グループの考え方をビジネスパートナーと共有し、連携してアニマルウェルフェアの向上に努めていきます。

「調達方針」「サプライヤー調達ガイドライン」はこちら [Click](#)  
「アニマルウェルフェアポリシー」はこちら [Click](#)